

使った分の木を山に還す「苗木を還そうプロジェクト」

宮崎県にスギの再造林費用を寄付

5 回目の寄付・森林資源の循環利用と CO₂ 排出量の削減に寄与

株式会社ゼロ・コーポレーション（本社:京都市中京区、社長:菊本雅幸、以下「ゼロホーム」）は、宮崎県のスギ植林・育林を目的とする再造林支援 2025 年度分として、約 728 万円の寄付金の贈呈を 2025 年 12 月に行いました。この寄付は、ゼロホームが独自で進める「苗木を還そうプロジェクト（以下、「苗木プロジェクト」）」の一環として 2021 年にスタートし、今回で 5 回目です。同プロジェクトにおけるこれまでの寄付金合計は、約 2722 万円となりました。

弊社は、公益的機能発揮に向けた多様な森林づくりや林業の担い手の確保育成を図り、森林資源の循環利用を推進するとともに、より堅固なサプライチェーンの構築を目指して、2020 年に宮崎県・同森林組合連合会・同木材協同組合連合会と包括的連携協定を締結いたしました。この取り組みは、京阪グループが推進する“SDGs を実現するライフスタイル”を企画・提案する「BIOSTYLE PROJECT」の一環です。「苗木プロジェクト」もこの連携協定から生まれ、森林資源の循環利用に大きく貢献するものと考えております。

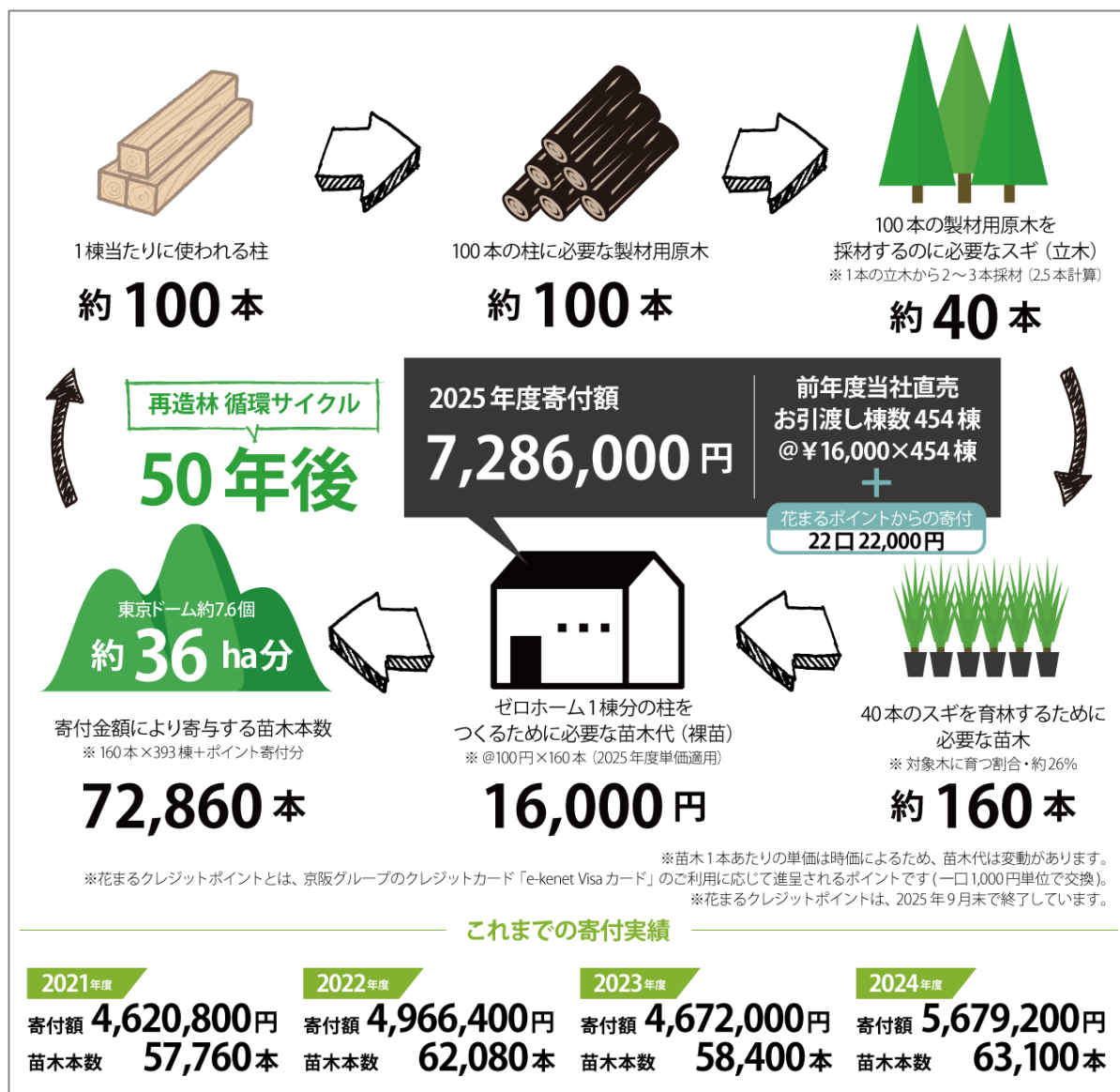
日本は国土面積の約 67%が森林であり、世界でも有数の森林国です。しかし、輸入材との競合等により国産木材需要の減少や価格の低下、植林や育林のコスト増、それにとまなう山や森林の所有者の高齢化や意欲減退、林業の担い手不足等、多くの課題を抱え、植林し、山を育て、伐採するという循環サイクルがうまく機能していません。

宮崎県は、スギの素材生産量 34 年連続 1 位（2025 年発表時）であり、日本で有数のスギ生産地です。弊社は、京阪神を中心に近畿エリアで木造住宅を建築し、販売する総合住宅会社として、山や森林の抱えるこれらの課題を前に、弊社が 1 年間にお引渡しした棟数に使用した柱の本数分に必要な苗木を宮崎県の山に還すことで、再造林を支援し、日本の健全な山や森林の循環サイクルに貢献いたします。



■ゼロホームの「苗木を還そうプロジェクト」 <https://zerohome.jp/shiru/miyazaki-pj/>

【プロジェクトの概要と寄付額算定のイメージ】



【CO₂ 排出量削減への貢献】

※林野庁、日本国温室ガスインベントリ報告書、財団法人日本住宅・木材技術センター等の資料より算出

苗木プロジェクトにともなう CO ₂ 吸収量の推移									単位: t
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合 計
2021 28ha		(寄付)	(植林)	354.47	344.80	344.80	344.80	344.80	1,733.67
2022 31ha			(寄付)	(植林)	392.45	381.74	381.74	381.74	1,537.67
2023 29ha				(寄付)	(植林)	367.13	357.12	357.12	1,081.37
2024 31ha					(寄付)	(植林)	392.45	381.74	774.19
2025 36ha						(寄付)	(植林)	455.75	455.75
合 計				354.47	737.25	1093.7	1476.1	1921.2	5,582.65

※初年度数値のみ植林年との合算

お引渡し棟数分の CO ₂ 固定量								
棟 数	361	388	365	393	454			
固定量	4,148	4,458	4,193	4,515	5,216			22,530

【宮崎木材研修の実施】

2012 年より継続して実施していた宮崎県での木材研修を、コロナ禍の中断を経て、本プロジェクトの一環として 2024 年より再開しました。再造林や苗木育成の現実を目の当たりにし、改めて現場の厳しさを体感することで、自らも当事者であることを理解して、それぞれの現場に活かしていく内容となっています。



※（上段）宮崎県での木材研修の様子、（下段）指導を受けながら実際に苗木の植林も体験、赤いユニフォームが弊社社員

【本プロジェクトにより期待できる効果、貢献】

1. 再造林を持続的にバックアップします
2. 山主の再造林コストの負担を軽減します
3. 植林や育林により CO₂ を吸収します
4. 再造林が継続的に実施されることにより、林業従事者雇用に寄与します
5. プロジェクトをアピールし、一般ユーザーの再造林に対する意識をアップします
6. SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献します



【2025 年度グッドデザイン賞を受賞】

「苗木プロジェクト」は、2025 年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞いたしました。

<https://www.g-mark.org/gallery/winners/28529?years=2025>



GOOD DESIGN AWARD
2025年度受賞

SDGsを実現するライフスタイルを提案する

京阪グループの「BIOSTYLE PROJECT」について

健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現しながら、SDGsの達成にも貢献していく。京阪グループでは、そんな循環型社会に寄与するライフスタイルを「BIOSTYLE(ビオスタイル)」として展開し、お客さまにご提案しています。

規制や我慢だけから生まれる活動ではなく、“人にも地球にもいいものごとを、毎日の生活の中に、楽しく、無理なく、取り入れていくことができる明るい循環型社会の実現”に貢献するため、京阪グループにできる様々な活動を推進していきます。

- ▶ 本取り組みは、BIOSTYLE の概念を事業化する取り組みとして BIOSTYLE 事業認証を受けています。
- ▶ 「BIOSTYLE PROJECT」について詳しくはこちら <https://www.keihan.co.jp/corporate/sustainability/biostyle/>

KEIHAN
BIOSTYLE
PROJECT

京阪グループのSDGs ビオスタイルプロジェクト

【このリリースのお問合せ先】

株式会社ゼロ・コーポレーション 広報部 深田朱美

TEL:075-221-4460 MAIL:info@zero-corp.co.jp

